



録画を配信

コミセン化の成果と課題は

町長 組織的な課題等について検討が必要



横山和浩議員

地区コミュニティセンターへの移行

成果や課題は

問 移行による成果と課題は何か。

町長 平成27年度に公民館制度から移行した。社会教育法による制限がなくなり自由度の高い広範な事業が展開されたことは大きな成果である。しかし、地域課題の多様化が進み、地域づくり人材の確保や組織的な課題、推進体制について検討が必要時期が来ていると認識している。令和5年度は集落支援員を配置する予定である。

人材を育てる

問 地域課題や人材育成にどう取り組めばいいのか分からないという声もあるがどうか。

町長 研修や情報交換などが、円滑な事業運営につながると考えている。

問 研修以外にワークショップなどの体験も必要である。こうした活動を町全体で行ってはどうか。

町長 地域の皆さんが課題を把握し、解決に向けて取り組む中で、連携や結び付きが備わると思う。

処遇の改善

問 初任給を上げるといふ報道をよく見かける。コミュニティセンター職員の処遇改善をどう考えるか。

副町長 経営主体の判断で決められるが、給与は一定の水準にする申し合わせがあった。待遇改善の話があれば連携協議会の中で議論・協議したいが、地域の理解が必要である。

ペットの多頭飼育問題

未然防止

問 ペットが増え過ぎて飼育環境などが悪化する、いわゆる多頭飼育問題の未然防止に努める考えはどうか。

町長 町内における多頭飼育と思われる件数は6件、環境省のガイドラインを受け、町報やチラシ、ホームページで周知・啓発を実施している。

ボランティア支援

問 保護や譲渡を担うボランティアに過度な負担が及ばないよう、配慮・支援を検討すべきではないか。

町長 活動について、感謝を申し上げるしかない。経済的な支援までは踏み込めないが、その時々で対応は考えている。



私もひとこと

コミセン活動に若い人の意欲を生かしてほしい。

(町内70代)

経費補助

問 不妊・去勢手術への経費支援はどうか。

町長 県獣医師会の補助事業があり、町報で周知している。

独自の補助制度を設けている他自治体の状況も参考に、今後、支援の在り方を検討したい。

私もひとこと

ペットが増えすぎると、飼い主だけでなく周囲への影響も心配です。

(町内60代)